

# 宇部市総合計画審議会教育文化分科会（第5回）議事録 【要旨】

日 時 平成21年4月30日（木） 15：45～17：00

場 所 市役所2階 第2会議室

出席者（委員）中野リエ子 園 絹枝 三原節子

（事務局）新総合計画策定室主査 篠原 功 総合政策課主任 福永俊明

（専門部会）教育次長 杉本繁雄 教育次長 佐貫和巳

欠席者（委員）玉重彰彦

## 1 教育文化分野における今後の方向性（SWOT分析の検討）について

### <健康福祉分科会との意見交換について>

健康福祉分科会で検討中の戦略の中に、教育文化分科会における検討内容と問題意識が重なり合うもの（高齢者の知識・経験の活用、ふれあいセンターの活用など地域コミュニティにおける取組、子育ての環境づくり）や、取組に際して教育部門との連携が不可欠なもの（発達障害等のある子供たちへの支援）があったため、健康福祉分科会委員長の呼びかけにより、健康福祉分科会の戦略について両分科会の意見交換を行った。

意見交換では、両分科会に共通する問題意識について確認しあった後、主に発達障害等のある子供たちへの支援について議論した。

まず、健康福祉分科会の委員から、子供たちの集団力の低下や、発達障害等のある子供の増加に対して、今適切な対応を採らなければ、将来の社会に禍根を残すことになるという問題意識が示された。

次いで、教育文化分科会の委員、専門部会からは教育現場での対応の現状が述べられ、健康福祉分科会委員からは、更なる取組の強化（発達障害等のある子供が通常の学級に在籍しながら、障害に応じた個別の指導が受けられる通級教室を、学校ごとに整備するなど）の必要性について問題提起が行われた。

### <他分科会に関連する戦略の整理について>

SWOT分析の戦略について、事前に事務局において、各分科会で提案された他の分科会に関連する戦略を整理し、各分科会においてその取扱いを検討することとした。

教育文化分科会関連では、「常盤公園の活用」「彫刻に関する取組」「学生が住みやすいまちづくり」「産学官の連携の活用」に関する戦略において、生活環境分科会や産業振興分科会に関連する戦略があったため、教育文化関連の戦略として視点を明確化するため内容の修正を行うことになった。

### <まちづくりの目標について>

各委員が事前に用意したまちづくりの目標の私案を基に議論した。

その過程で「人づくり」という言葉を盛り込むことを検討した。その重要性については委員・専門部会とも共有するところであり、大都市ではない宇部市のような都市規模だからこそ、人

づくりが可能なのではないかという意見も出された。議論の結果、文化の継承には地域づくりの考え方も必要であり、「人づくり」という言葉で包括するのは難しいと思われることや、他の分科会の「まちづくり」の目標との整合性を考慮して見送られた。

議論を重ねる中で、各私案のキーワード「豊かな自然と文化の中で」「心を繋ぐ」「笑顔で創る」を活かし、これに、市民が主体であるという想いをこめた「みんなで」という言葉を入れて、「豊かな自然と文化の中で、みんなが心を繋ぎ笑顔で暮らせるまちづくり」を教育文化分野のまちづくりの目標とすることとした。

#### **<優先戦略について>**

委員長が本日所用のため欠席であり、また、優先戦略を決定する前に会議が予定の時刻を超過したため、改めて分科会を開催することになった。

次回、委員長も含め、全員で本日の決定内容を再確認した上で、優先戦略を決定する。

**※次回開催 平成 21 年 5 月 14 日(木) 9:30～ 宇部市役所 2 階 第 4 会議室**